

2022年4月25日

奥州市長 倉成 淳 様

日本共産党奥州市議会議員団

団 長	今 野 裕 文
議 員	菅 原 明
同 上	千 葉 敦
同 上	瀬 川 貞 清
同 上	佐 藤 美 雪

新型コロナ感染の急拡大から市民の命とくらしを守るための緊急申し入れ

日頃より、貴職におかれましては、新型コロナ感染対策にご尽力いただいていることに、敬意を表します。

新型コロナの新たな変異株であるオミクロン株の急拡大により、岩手県でも過去最多を記録するなど、「第7波の入り口に立った」との見方が広がりつつあります。

奥州保健所管内でも、人口10万人あたりの感染者数は、101.9人(2月1日)から180.8人(4月21日)と増加しており、感染拡大が続いています。

新型コロナ・オミクロン株 RA2 への置き換わりによる新たな感染拡大を防ぎ、県民の命とくらしを守るためには、3回目のワクチン接種の早期・確実な接種と検査体制の強化が必要です。また、長引く感染拡大の下で打撃を受けている事業者の経営の継続を守る支援策の拡充が必要です。

こうした立場から、人の移動が活発になる大型連休を前に、下記の点について、緊急に新型コロナ対策の抜本的強化を図るよう申し入れいたします。

記

1. 市と市民が新型コロナ・オミクロン株による感染急拡大への危機感を共有し、一体となって感染抑止の取り組みを強化すること。
2. 感染拡大抑止のカギを握る3回目のワクチン接種の早期・確実な促進、特にも、夜間・金曜日の集団接種など、県内の先進的な取り組みに学び、具体的な推進策を講じること。
3. PCR等検査体制の強化について
 - (1) 高齢者施設、教育・保育施設、医療施設、学校等での定期的な検査の継続的実施を行うこと。
 - (2) 感染拡大が続き、不安を感じる市民への無料のPCR検査を、5月以降も継続実施すること。
 - (3) 抗原検査キッドの無料配布と活用など積極的に検査に取り組むこと。
4. 後遺症について、状況を把握するとともに、副反応に対する医療と相談の体制を確立すること。
5. 生活困窮者、事業者等への支援強化について
 - (1) 支援の対象となっていない生活困窮者への支援策を国、県に求めるとともに、市としても実施すること。
 - (2) 事業復活支援金の継続実施と拡充、早期の支給を国に求めること。雇用調整助成金の特例措置の継続、小学校休業等対応助成金の周知徹底を求めること。
 - (3) 市独自の事業者支援策を講じること。
 - (4) 市税、国保税等、コロナ特例減免の周知徹底を図り、積極的に活用を勧めること。
 - (5) 米価暴落を繰り返さないために、在庫米の市場からの隔離を国に強く求め、生活困窮者等への支援に回すこと。水田活用直接支払い交付金の大幅な減額・削減となる見直しの中止を求めること。